

ニュースレターの発行にあたって

この度会員の皆様にご協力があって、出来るだけ早くそしてコンパクトにお届けできるように「News Letter」を作成し、印刷物あるいはホームページ上でお届けすることと致しました。

当協会では様々な事業に取り組んでいますが、情報が氾濫している中、会員などの皆様に必要と思われる情報をわかりやすく、タイムリーにお伝えできればと考えております。

今後、支部や会員の動きなども充実させ港湾所在都市で起きている生の情報が行きかうような紙面にも育てて生きたいと考えており、会員の皆様にとって価値があるものとしていく予定です。

会員の皆様のご意見、ご協力をいただきながら、出来るだけ皆様のお役に立つものとしてお届けできるように、努力をしたいと思っております。



会長 御巫 清泰

港湾政策研究所活動報告

この4月より港湾政策研究所が発足しました。この活動状況を報告します。

(1) 政策研究動向

●港湾計画「新」読本：港湾計画策定者へのチャート（海図）（自主研究）

日本港湾協会では、多くの管理者から港湾計画の改訂にあたって、その原案を作成するための作業を受託しており、平成10年度から平成16年度までに設置された委員会の数は56に及んでいます。本書は、この間に港湾協会の担当者間で、あるいは国土交通省の計画担当者との間で議論をしてきた、計画等の検討を進める際の問題点と、議論の結果をとり入れた改善策を整理したもので、港湾計画策定作業のなかで、担当者が必要とする知識に主たる視点をおいてとりまとめたものです。（8月刊行の予定）

目次は以下のとおりです。

- 第1章 本書の意図するところ
 - 第2章 港湾計画は「なぜ」必要か？
 - 第3章 港湾計画策定の一般的な流れ
 - 第4章 計画の基本方針における主たる考察事項
 - 第5章 長期構想委員会での議論と港湾計画
- 【担当：橋立、村上】

●近畿圏経済の再生方策検討調査（自主研究）

阪神淡路大震災後、平成の大不況もあって阪神地域の経済活動は苦戦を続けており、神戸港も港湾貨物の伸びが芳しくなく懸念される点が多い状況にあります。

このため復興事項の推移と関連付けながら背後地域の経済社会の動向を整理し、その原因と背景を読み解き、問題点の解決策を探り、将来への対応策検討への糸口を見出すことを目的として、調査を実施しています。主な検討テーマは以下のとおりであり、9月末とりまとめの予定です。

- ・神戸港・近畿の社会経済動向と推移
 - ・神戸港の課題 ～関西経済と絡めて～
 - ・港湾ロジスティックハブの形成方策
 - ・関西における産業立地の動向
 - ・関西と東アジア
 - ・東アジアの港湾と海運動向
- 【担当：橋立】

(2) 計画・調査委員会

港湾計画等の検討にあたり、以下の委員会が発足しています。

- ・苫小牧港湾整備構想検討委員会【橋立、見角】
- ・秋田港長期構想委員会【村上、見角】
- ・酒田港長期構想検討委員会【村上、見角】
- ・東京港港湾計画調査検討委員会【橋立、見角】
- ・大阪湾港湾の基本構想懇談会【橋立、見角】
- ・唐津港長期構想計画調査委員会【村上、見角】
- ・大分港長期構想検討委員会【橋立、見角】
- ・八代港長期整備構想策定委員会【村上、井上】

(3) 各種委員会業への参画

日本港湾協会は、港湾に関係する国等の各種委員会等委員の委嘱を受けています。会員の皆様の意見を反映するため、適宜委員会等の情報をお伝えしていきたいと思っておりますので、ご協力お願いいたします。

- ・揮発性物質放出規制港湾の指定にかかる基準検討委員会 算理事
- ・公共交通事業者等における外国人観光客に対する案内情報提供に関する検討会 算理事
- ・国土交通政策審議会海事分科会水先部会（水先制度抜本改革関係）小池客員研究員



21世紀みなとづくり

●平成17年度港湾関係研究奨励助成研究の決定

21世紀みなとづくり推進委員会（代表 社団法人 日本港湾協会 栢原理事長）事業として、昨年度より港湾の利用振興や発展等に資するソフト（経済、経営、計画、法律、文化など）の研究を行う研究者や研究グループ等に対する研究奨励助成制度を創設しています。本年度は日本港湾協会の機関誌、ホームページなどを通じて幅広く広報し、平成17年1月18日から4月20日まで募集を行いました。

その結果、観光、計画、港湾経営、港運などの分野で多数の応募があり、このたび応募期間中に受理した申請書を、研究奨励助成審査委員会（委員長 玉置和宏 毎日新聞論説顧問）に諮り、下記の6件の研究について助成を行うことと致しました。なお、本研究助成は、来年度も継続して実施を予定しています。

【17年度 港湾関係研究奨励助成研究】

1. 「港湾・海運の技術変化の貿易に与えた影響の分析」 加河 茂美（東北大学大学院助手）ほか
2. 「中堅港湾における物流促進戦略（清水港とスーパー中堅港湾との対比において）」 篠原 正人（東海大学教授）ほか
3. 「中津港の整備に伴う波及効果について、経済・産業ならびに地方行政政策の観点から分析」 下田 憲雄（大分大学教授）ほか
4. 「都市連携と港湾活用」 黒川 和美（法政大学教授）ほか
5. 「わが国の地方港湾における産業観光の普及と今後のあり方に関する研究」 戸田 敏行（(社)東三河地域研究センター常務理事・主席研究員）ほか
6. 「港湾行政における業績評価・成果指標の導入とマネジメントに関する研究」 永田 潤子（大阪市立大学大学院助教授）ほか

行事予定

8月 北東アジア港湾協会長会議（29日 於：中国煙台）

9月 フォトコンテスト募集締切（30日）

10月 理事会（12日）

港湾行政研究会（事務）（18日～20日）

港湾整備振興全国大会（26日）

11月 17年度海外港湾視察（6日～13日 於：シンガポール、タンジュンプルパス、ポートクラン、ペナンetc）

港湾行政研究会（技術）（15日～17日）

フォトコンテスト審査・結果発表（下旬）

12月 予算編成報告会（未定）

1月 港湾関係者新春懇談会（未定）

港湾功労者：各賞推薦締切（下旬）

2月 理事会（未定）

3月 港湾講演会（7日～8日 於：海運倶楽部）

※詳細な日程等は当協会までご確認ください

振興大会

●各支部・各県港湾協会等の総会・振興大会の開催予定 （8月以降分）

岩手県港湾整備・ 利用促進大会	8月3日盛岡市 盛岡グランドホテル
九州地区支部連合会 第52回総会	8月24日伊万里市 ウエルサンピア伊万里

出版物

港湾協会では、以下の図書、雑誌等を出版しています。

〔（非会員価格）【送料】年月は発行年月〕

- ① 港湾の施設の技術上の基準・同解説（平成11年改訂版）
¥24,150（¥26,250）【¥1,000】平成11年6月
- ② 港湾土木請負工事積算基準（平成17年度改訂版）
¥10,000（¥12,000）【平成17年4月】
- ③ 船舶及び機械器具等の損料算定基準（平成16年度改訂版）
¥2,000（¥3,000）平成16年4月
- ④ 港湾関係補助金等交付規則実施要領（平成17年版）
¥4,500（¥4,500）平成17年7月
- ⑤ 港湾工事共通仕様書（平成16年版）
¥5,500（¥6,500）平成17年3月再版（一部改訂）
- ⑥ 港湾設計測量・調査等業務共通仕様書（平成13年版）
¥3,500（¥4,500）平成15年4月再版（一部改訂）
- ⑦ 海岸保全施設の技術上の基準・同解説
¥6,300（¥6,300）平成16年6月
- ⑧ 港湾統計年報（平成15年版）
¥8,500（¥8,500）平成17年4月
- ⑨ 港湾行政の概要（初任者用）（平成17年度版）
¥8,000（¥10,000）平成17年6月
- ⑩ 港湾行政の概要（事務用）（平成16年度版）
¥10,000（¥10,000）平成16年
- ⑪ 港湾行政の概要（技術用）（平成16年度版）
¥15,000（¥15,000）平成16年
- ⑫ 数字で見る港湾（2005年版）
¥1,000（¥1,000）平成17年7月
- ⑬ 日本の港湾2005
¥16,000（¥16,000）【¥1000】平成17年3月
- ⑭ 機関誌「港湾」¥1,050（¥1,050）月刊誌
- ⑮ よしお君とでろりん ¥1,400（¥1,400）平成17年7月

価格はすべて消費税を含んでいます。送料を含まない場合、1冊の送付料金を記載しています。多数の場合はお問い合わせ下さい。購入方法は、以下のとおりです。

① 当協会受付にて販売しております。

② 送付をご希望の場合には、郵便振込又は現金書留にてお申し込み下さい。

〔郵便振込の場合〕 郵便局の振込用紙に書籍名、冊数をご記入下さい。

郵便振込口座：00160-63105、口座名：社団法人 日本港湾協会

〔現金書留の場合〕 書籍名、冊数を明記したものを同封の上、当協会あてにお申し込み下さい。なお、郵便振替は10日後かかります。お急ぎの場合は、現金書留速達にてお申ください。書籍は送金が確認できしだい領収書と一緒に2～3日中にお送り致します。